

2013年
11月3日
(日・祝)

2013年度 秋の講演会（札幌）のご案内

講演会テーマは

「クラウド（非来場者 / 非来館者）が共感する価値創造」

劇場やミュージアムなどの文化施設において、個別の事業に関する広報活動やアウトリーチ活動は、今まで盛んに行われてきました。

一方で、このような活動をしてきたにも拘わらず、まったく文化施設を訪れない人びとや関心を示さない人びとがいることも事実です。特に、公立の文化施設においては、このような人びとからも税金という形で資金をいただいているので、この事実文化施設側は無関心でいることはできません。

今回の「秋の講演会」では、クラウド・ファンディングの新たな動向、ミュージアムにおける新たな試みなどを通して、文化施設を訪れない人びとや関心を示さない人びととのコミュニケーションの育み方や新たな価値づくりについて考えます。

主催：文化経済学会＜日本＞

共催：北海道教育大学岩見沢校

日時：2013年11月3日（日・祝） 13:30～16:45

会場：北海道教育大学 札幌駅前サテライト（JR札幌駅西口から徒歩2分）

札幌市北区北5条西5丁目 Sapporo55ビル 4階（1・2階に紀伊國屋書店が入ったビルです）

<http://www.hokkyodai.ac.jp/satellite/sate-access.html>

参加費：一般1,000円（会員・非会員） 学生500円（会員・非会員）

懇親会：Cafe & Bar ROGA（北区北7条西5丁目）17:30～19:30 会費4,000円

札幌事務局メールアドレス：bunka-keizai-sapporo@hokusei.ac.jp

<プログラム>	受付開始：12時45分 全体日程 13:30～16:45
13:30～13:35	開会挨拶
13:35～14:05	問題提起「共感クラウドの創造へーコミュニケーション・クライテリアの転換を」 白井栄三（北海道教育大学特任教授）
14:05～14:35	報告1「芸術団体が行うクラウド・ファンディングの可能性」 山本純子（(株)アーツ・マーケティング代表）・関鎮京（北海道教育大学准教授）
14:35～15:05	報告2「ミュージアムにおける新たな価値づくりへの挑戦」 稲庭彩和子（東京都美術館学芸員）・佐々木亨（北海道大学大学院教授）
15:05～15:15	休憩
15:15～16:15	パネル・ディスカッション パネリスト：白井栄三、山本純子、稲庭彩和子、関鎮京、佐々木亨 コーディネーター：早川渉（映画監督・CMディレクター）
16:15～16:45	質疑応答

<会場アクセスマップ>



<札幌市内での文化芸術イベント紹介>

■その1 札幌国際芸術祭2014 プレフェスティバルイベント

「都市と自然」をテーマに来年夏、「札幌国際芸術祭2014」が開催されます。歴史文化・風土、都市機能、地域経済や産業、暮らし方をアートの視点で見つめ直すことで、都市と自然との共生のあり方を問う、従来の展覧会の枠組みを超えた新しい形の芸術祭を目指しています。

本開催に向けて、様々な交流や体験の場を通じて、市民自らが未来を展望する機会となるよう、「知る」「聴く」「関わる」という視点から3部構成の「プレフェスティバルイベント」が、「秋の講演会」の翌日11月4日（月・祝）、5日（火）に開催されます。

4日は16時より、「札幌国際芸術祭2014」のゲストディレクター坂本龍一氏から、参加アーティストや様々なアートプロジェクトなど、この芸術祭が目指す札幌の未来へ向けたビジョンと全貌が発表されます。

詳細は以下をご覧ください。

<http://www.sapporo-internationalartfestival.jp/pre-event/2nd>

なお、4日のイベントへのご参加には、ネットによる事前申込みが必要です。

申込み締め切りは10/21（月）で、参加無料です。

■その2 札幌劇場祭

「札幌劇場祭」(Theater Go Round)が「さっぽろアートステージ2013」の一環として、11月1日から始まります。11月の約一ヶ月間、札幌市内9つの劇場が参加し、演劇、オペラ、音楽、人形劇など、これぞと思う作品を上映し企画を競い合う、劇場の祭典です。

例えば、11月1日（金）～3日（日・祝）は、韓国の劇団視線が、札幌の小劇場「シアターZOO」で「嬖姫（ペヒ）」という作品を上演します。

詳細は以下をご覧ください。

<http://s-artstage.com/2013/tgr2013/>